

# 第14回全国市議会議長会研究フォーラム報告書

令和1年11月6日

日付 令和1年10月30日(水)、31日(木)

場所 高知ちばさんセンター

提出者 立志会 山口 義勝

## 【10月30日(水)】

### (基調講演)

「現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性」

(中島 岳志氏 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授)

1. 政治のマトリクス
2. ラディカルデモクラシーとポピュリズム
3. リベラルの逆説
4. 保守とは何か?

### (パネルディスカッション)

「議会活性化のための船中八策」

コーディネーター

(朝日新聞論説委員 坪井 ゆづる)

### パネラー

(市町村職員中央研究所学長 高部 正男)

- ①市議会についての現状認識
- ②自治体議会をめぐる状況変化
- ③議会基本条例
- ④今後の自治体議会のあり方
  - ・多様な人材の市議会への参画促進に関する決議
  - ・中長期的な制度課題
  - ・早急に検討すべき事項

((株) コラボラボ代表取締役 お茶の水女子大学客員准教授 横田 響子)

- ①そもそも議会に必要なこと

- ・ 20 年後の住民は幸せですか？
- ・ やりっぱなしになっていませんか？  
数字（EBPM）とともに PDCA は？
- ・ 若手、女性の参加は？  
巻き込んで街を活性化する策は？

## ②議会改革の具体的なアイデア

- ・ 中長期視点で街の目指す方向を議論  
人口減を前提に！
- ・ ガチンコ会議を多様な人材で実施
- ・ 経験の機会提供

（高松丸亀町商店街振興組合理事長 古川 康造）

- ①高松丸亀町まちづくり戦略
- ②高松丸亀町商店街の再開発
- ③向こう 100 年を見据えて

（高知市議会議長 田鍋 剛）

- ①主な議会改革の取り組み

【10 月 31 日（木）】

## （課題討議）

「議会活性化のための船中八策」

コーディネーター

（朝日新聞論説委員 坪井 ゆづる）

## 事例報告者

（上越市議会議員 滝沢 一成）

- ①市議を目指しやすい環境整備への提言
  - ・ 市議を目指しやすい環境整備検討会
  - ・ ホワイトボード・ミーティング
  - ・ 市民との意見交換会
  - ・ 議員アンケート

（鎌倉市議会議長 久坂 くにえ）

- ① 女性議員の現状の視点
  - ・ 顕在化した課題

- ・現在の潮流
- ・環境整備に向けて

(周南市議会議長 小林 雄二)

①合併誕生後の議会解散までの経過

- ・議員報酬問題

②議会改革の歩み

③行政監視機能の充実

④委員会懇談会

(所感)

平成 12 年 4 月に地方分権一括法が施行され、国と地方の役割分担の明確化、期間委任事務制度の廃止、国の関与のルール化等が図られました。

また、各地方公共団体は自らの判断と責任により、地域の実情に沿った行政を展開していくことが大いに期待されるようになりました。

これらに伴い、予算や事業の決定権を握っている議会においても、さらに重大な使命をになうとともに、より説明責任が求められるようになりました。

このような中で、地方議会の運営において改革が余儀なくされ、各地方議会において、議会基本条例が制定され、議会改革が進みそれなりの成果を上げている議会、まだ道半ばである議会があることも否めません。

「議会改革」の目的は、住民の声を行政に生かせるように、議会の構造や考えを変えていく取り組みであり、住民の皆さんに「議会のしくみ」や「議会の働き」を知っていただき、身近な政治の舞台へ関心を持っていただくだけでなく、住民の皆さんとともにまちづくりに参加できるような議会を目指さなければならないと思います。

それで、今回の全国市議会議長会研究フォーラムに参加して、「基調講演」、「パネルディスカッション」、「課題討議」を拝聴した中で特に課題討議における 3 人の地方議会の議員による事例報告については、本市においても身近な問題であると感じた。言ってみればどこの地方議会でも同じような課題に直面している。

そこで、今後においては今回の「基調講演」、「パネルディスカッション」、「課題討議」や資料等を参考に検証し、本市に必要な項目を見きわめて改革を推進し、さらに議会への信頼、理解が得られるようにしなければならないと考えています。